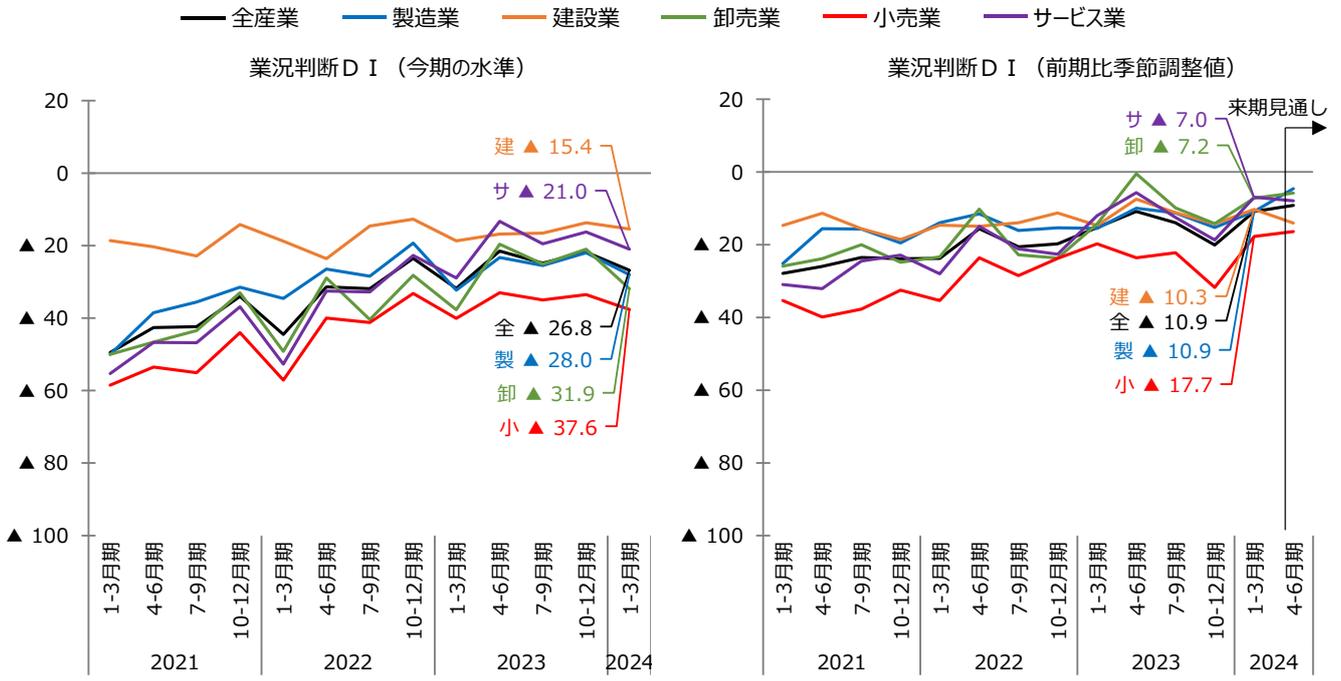


第175回 中小企業景況調査（2024年1-3月期） 近畿



1. 業況感

近畿地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2023年10-12月期）より5.0ポイント減の▲26.8と2期ぶりに低下した。産業別にみると、5産業すべてで低下した。

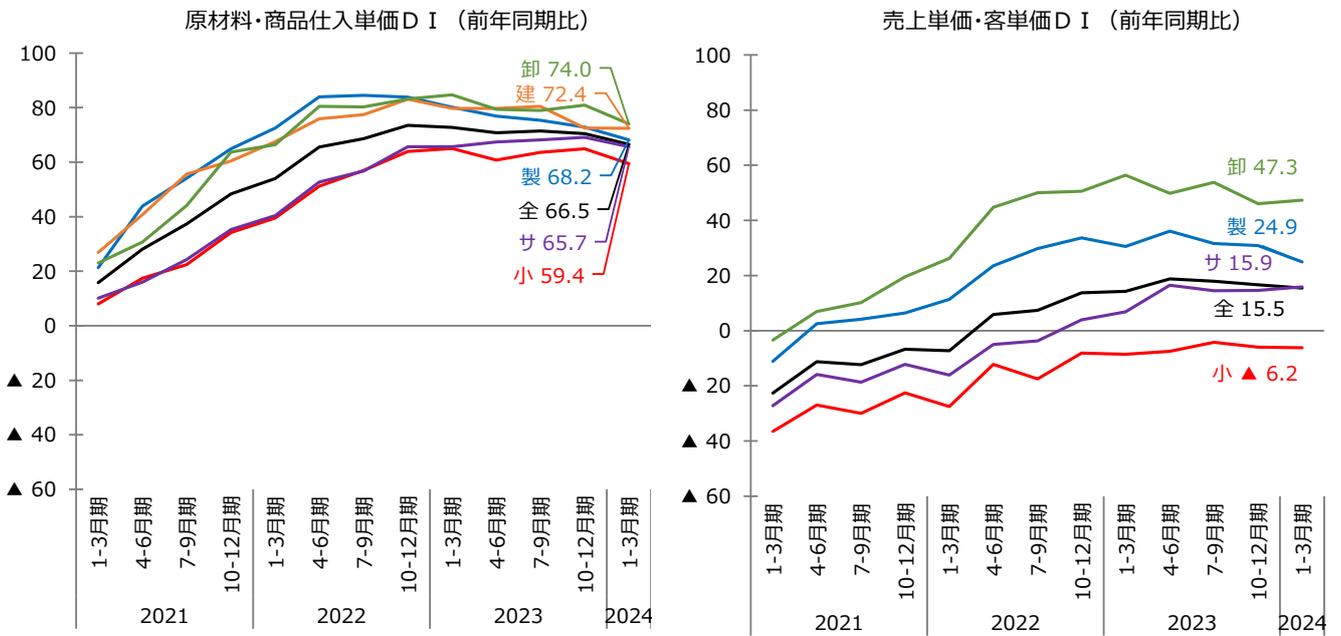


※今期の業況について「良い」「ふつう」「悪い」で質問

※前期（2023年10-12月期）と比べて、「好転」「不変」「悪化」で質問

2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より4.0ポイント減の66.5と2期連続して低下した。産業別にみると、5産業すべてで低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より1.2ポイント減の15.5と3期連続して低下した。産業別にみると、卸売業、サービス業で上昇し、製造業、小売業で低下した。



※前年同期（2023年1-3月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

※前年同期（2023年1-3月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

<調査概要> 調査時点は2024年3月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,832 有効回答企業数：17,802 有効回答率：94.5% うち、近畿：2,491企業

※本資料の集計対象の都道府県は、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県です。

第175回 中小企業景況調査（2024年1-3月期） 近畿

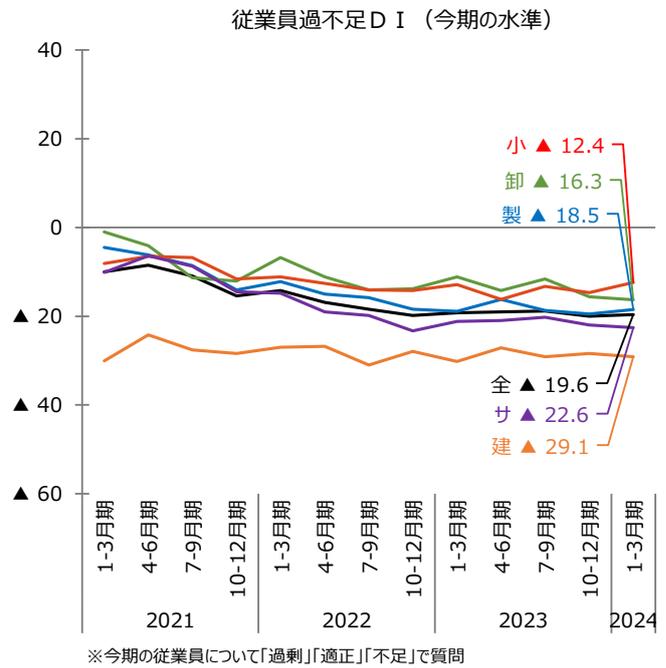
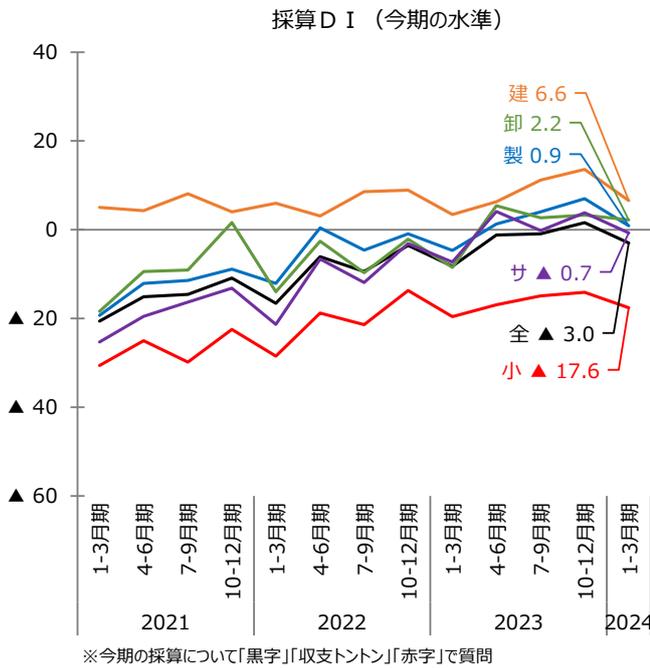


3. 採算

採算DIは、全産業で前期より4.6ポイント減の▲3.0と4期ぶりに低下した。産業別にみると5産業すべてで低下した。

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.4ポイント増の▲19.6と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、小売業、製造業で上昇し、卸売業、建設業、サービス業で低下した。



5. 近畿の中小企業の声

| | 業況判断の背景 | 業種 |
|-----|---|------------------------------|
| 現状 | 半導体関連の需要は高いレベルにあるが、足元では一時的な減速傾向にある。半導体以外は、需要の停滞が大きく見られる。原材料価格の上昇が続いており、経営を圧迫している。今期は前年に比べ、厳しくなりそうだ。 | 製造業 他に分類されないプラスチック製品加工業 |
| | 新幹線開業に伴う建設特需が終息し、県内の建築需要が落ち着いた感がある。建設資材メーカーの当社においても、受注数、単価ともに減少傾向にある。 | 建設業 鉄筋工事業 |
| | 従業員の確保が非常に困難。特に技術職員は、母数もかなり少なく苦慮している。また、ヨーロッパ方面からの輸入ルート確保も課題。スエズ運河を回避し、喜望峰回りが主となり、リードタイム、運賃等上昇になっている。 | 卸売業 その他の産業 機械器具卸売業 |
| | 仕入単価の上昇により、価格転嫁したいと思うが、当店では固定客は60代以上の年金生活のお客が多いため、なかなか価格転嫁ができていない。 | 小売業 電気機械器具 小売業（中古品を除く） |
| | 中小企業からコロナ後の業務改善相談が数多く寄せられていますが、熟練技術者の確保が難しく対応しきれない。企業も人集めに苦労されていますが、支援すべき弊社も人手不足で双方の業績向上の足かせです。 | サービス業 受託開発ソフトウェア業 |
| 見通し | 主要取引先の設備投資計画が後ろ倒しとなるケースが多く、製造をとりまく環境の好転は、まだ先になると実感。原材料費高騰、円安の影響は、受注単価の低下に直結し、この傾向は、しばらく続くと予測しています。 | 製造業 工業用プラスチック製品加工業 |
| | 年初より能登での災害が発生し、また、関西万博等の大規模のプロジェクトが本格的に始まると、資機材の調達に厳しくなると予想されます。世界的なインフレ傾向の中、収益を圧迫していくと感じています。 | 建設業 一般土木建築 工事業 |
| | 現状の為替水準では、採算が取れない。値上げも限界がある。物流コストも上昇、物価高から需要も低迷。先がまったく見えない。 | 卸売業 その他の身の回り品卸売業 |
| | 原材料の価格上昇は、穏やかになりつつあるが、まだ上昇は続いており、今後商品の価格についても、値上げする必要があると思う。 | 小売業 菓子小売業（製造小売） |
| | 本年4月より、2024年問題による従業員の拘束時間の制限や、残業代の割り増し等が発生し、先行きが見通せない。トラックを12月に買い替える予定であるが、購入価格がかなり高騰している。 | サービス業 特定貨物自動車運送業 |

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)

項目を選択する方式ではなく、業況判断の背景についての感想や意見を自由に記入する方式であることから、各企業が抱える課題が表れている。